

2024松山・白石の鼻巨石群シンポジウム

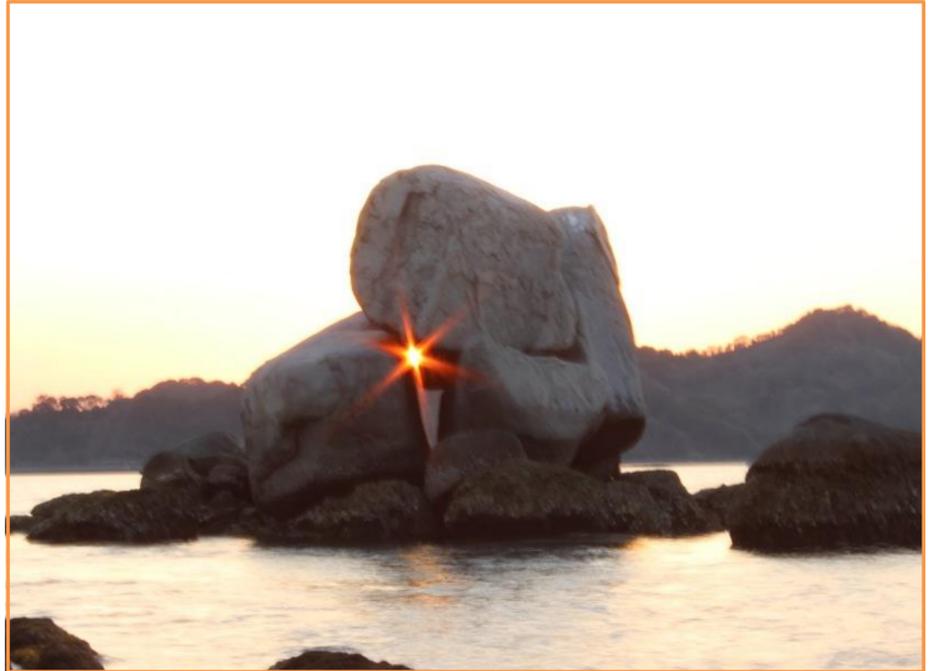
「白石の鼻巨石群の魅力を探る！」

～巨石を守り、活かし、伝えるためには？～

第一部 シンポジウム



大洲・高山の巨石



白石の鼻巨石群の三ツ石

基調講演

五藤孝人

「(仮)大洲の巨石文化及び白石の鼻巨石群の見解」
歴史民俗研究家、元小学校教員

在職中に独学で歴史民俗の研究に取り組む。主な研究内容は、部落史、古代史、芸能史、近世教育史など多岐に渡りこれまでに発表した研究論文は80本を超え、専門家からの評価も高い。歴史学、民俗学などの専門書や学術書、学会誌、機関誌などに度々紹介されるとともに、講演した回数は大小合わせて400回を超える。

定年退職後、過疎化が進む地元を活性化させようとカフェさんぽを開業。癒やしと地域の交流の空間づくりに努めている。

研究発表

篠澤邦彦

「白石の鼻巨石群で解く石舞台太陽祭祀施設説」

松山・白石の鼻巨石群振興会事務局長、古代巨石文明研究家

16年に及ぶ白石の鼻巨石群の研究成果を活用して日本でもっとも著名な巨石構造物である石舞台遺跡の謎を解きます。石舞台は本当に古墳なのでしょうか？何故、盛土がないのでしょうか？石舞台が示す太陽との関連性について白石の鼻巨石群や世界の太陽祭祀施設と比較しながら読み解きます。

パネルディスカッション

テーマ「巨石を守り、活かし、伝えるためには？」

・二至二分全ての季節の太陽と巨石が連動しているという全国でも稀な貴重な白石の鼻巨石群をどう活かし、守り、後世に伝えるには今、何が必要なのかを議論します。

(パネリスト予定)

前田眞(愛媛大学地域協働推進機構 客員教授)
五藤孝人、篠澤邦彦、仲矢文和、

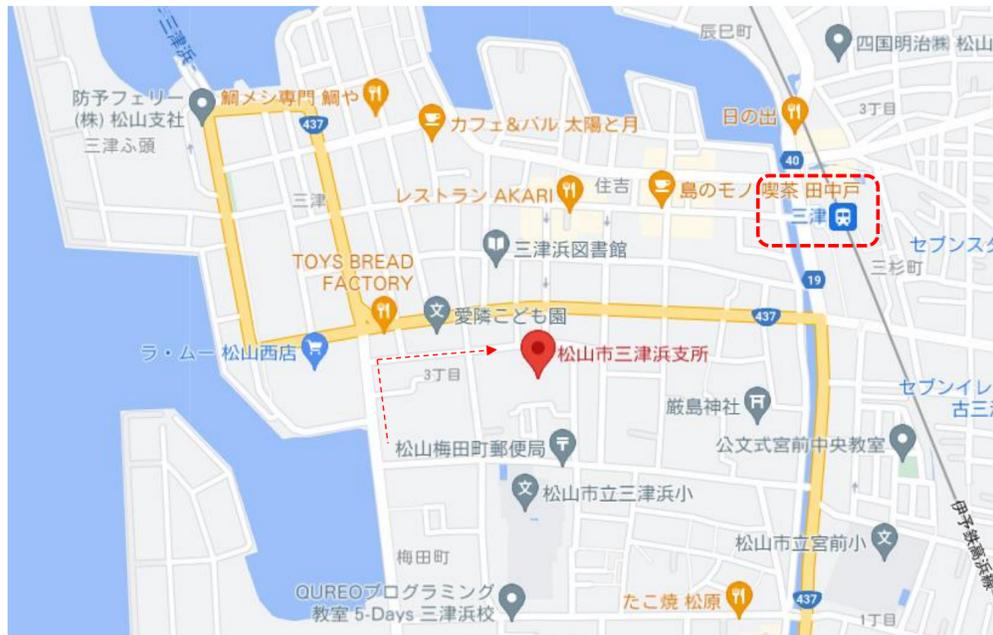
期日:9月21日(土)13:00(12:30開場)～16:30

会場:松山市三津浜支所中会議室(募集:50人)

(愛媛県松山市三津3丁目2-30)

入場料:2,000円/1人 高校生以下500円/1人

(定員になり次第、締め切ります。)



●交通アクセス

○鉄道

・伊予鉄高浜線 三津駅下車、徒歩10分
(伊予鉄松山市駅～三津駅まで14分)

○車

・松山ICから高浜観光港方面へ行き県道19号線沿い(約45分)

第二部 夕日の観賞会

●夕日の観賞会 17:10～18:00 (無料)

会場:高浜6丁目 白石の鼻海岸

①三ツ石に沈む秋分前の夕日を観賞!

②紙芝居「お日さまの子(春秋編)」を上演

※第二部は雨天の場合は中止する場合があります。

※白石の鼻海岸への移動・交通手段は自己解決でお願いします。

※現地にはトイレがありませんので、先に済ませておいてください。

●問い合わせ先

TEL: 050-3580-3696 (18:30～21:00)事務局

Eメール: shiraishinohana.labo@gmail.com

ホームページ: <https://haku1414.com/>

主催:松山・白石の鼻巨石群振興会(代表:仲矢文和)

白石の鼻シンポジウム 9月21日(土)

12:30 第一部 受付開始
(松山市三津浜支所中会議室)

13:00 開会挨拶

13:05 来賓挨拶

13:15 【基調講演】(60分)
五藤孝人(50分)+質疑10分
「(仮)大洲の巨石文化及び白石の鼻の見解」

休憩10分

14:25【研究発表】(60分)
篠澤邦彦(50分)+質疑10分
「白石の鼻巨石群で解く石舞台太陽祭祀施設説」

15:30 シンポジウム
「巨石を守り、活かし、伝えるためには？」

パネリスト

前田眞、五藤孝人、篠澤邦彦、仲矢文和

16:30 閉会

白石の鼻海岸へ移動

※各自移動は自己解決でお願いします。
※現地にはトイレがありませんので、支所あるいは
松山観光港で済ませておいてください。

17:10 第二部 開始

夕日の観賞会(白石の鼻海岸)

- ①紙芝居(お日さまの子)上演
- ②現地説明及び夕日の観賞

18:00 解散

・五藤孝人

歴史民俗研究家、元小学校教員

在職中に独学で歴史民俗の研究に取り組む。主な研究内容は、部落史、古代史、芸能史、近世教育史など多岐に渡りこれまでに発表した研究論文は80本を超え、専門家からの評価も高い。歴史学、民俗学などの専門書や学術書、学会誌、機関誌などに度々紹介されるとともに、講演した回数は大小合わせて400回を超える。定年退職後、過疎化が進む地元を活性化させようとカフェさんぽを開業。癒やしと地域の交流の空間づくりに努めている。

著書:『ふるさとの南久米』(2010)、『「世直しの歌」の力～武左衛門一揆と「ちょんがり」の精神～』(2012)。この本を題材にした南海放送ラジオドラマ「風の男BUZAEMON」が日本放送業界の最高峰のギャラクシー賞のラジオ部門の優秀賞に輝いた。

・篠澤邦彦

松山・白石の鼻巨石群振興会事務局長

H20.1月に偶然、通りかかった瞬間に「白石の鼻」の巨石がオーパーツであると直感。その後、集中的に調査・研究し、二至二分の夕日のラインと巨石群が整列することを実証。

H20.9月イワクラサミット(神戸)、H25.10月イワクラサミット(近江八幡)にて研究レポートを報告。現在、「白石の鼻」巨石文化の可能性について調査研究・情報発信・普及に努めている。郷土史研究家、日本天文考古学会常務理事、フリーランスエンジニア、著書に『伊予のストーンヘンジ』がある。

・前田眞

愛媛大学地域協働推進機構 客員教授・非常勤講師

2019年(令和元年)愛媛大学SDGs推進室副室長就任

2021年(令和3年)愛媛大学地域協働センター中予副センター長就任

2022年(令和4年)愛媛大学地域協働センター南予副センター長就任

愛媛大学の地域協働コーディネーターとして社会貢献活動に取り組む。松前町のまさきいいとこ見つけ隊、西条市の小松立志隊などをはじめ県内各地の住民活動や市民活動などの支援を通して協働による社会づくりの実現のために「背中を押すような支援」をモットーに活動。また、松山市の坂の上の雲フィールドミュージアム支援事業で白石の鼻巨石群振興会の活動支援にも関わる。



●問い合わせ先 登録NPO松山・白石の鼻巨石群振興会事務局

TEL: 050-3580-3696

Eメール: shiraishinohana.labo@gmail.com

ホームページ: <https://haku1414.com/>